

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2009.6.28 No.512 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

激しかったあきる野市議選 事実と違う宣伝がされましたが…

真実は ひ・と・つ

六月七日投票のあきる野市議選は、少教激戦の選挙でした。見逃せないのが、この選挙戦で事実に基づかない宣伝が横行したことです。

「学校の耐震化は 公明党の実績だ」と 宣伝

今回の選挙で公明党の支持者と思われる方から「学校の耐震化を共産党がやったというがそれはウソで、

実際は公明党がやったんでしょ」という話が数多くなされたことです。

真実はどうか? 事実が証明——

日本共産党は、四年前の選挙が終わった直後の〇五年の六月議会で、遅れている小・中学校の耐震化を取り上げ「温泉建設より学校の耐震化を」と影山議員が質問しました。

四年間で八回

影山議員が議会で質問

「財政困難、すぐは無理」という市長の答弁。それに同調する共産党以外のオール与党議員の議会が追隨してきました。

日本共産党議員団は、それでも市民と子どもへの命と安全を守るため頑張りました。

あきる野市の小・中学校十八校を全部調査し、以後

「るのバス」も公明党が実現と宣伝したが… 市民はしっかりと事実を見つめています

さらに「るのバス」も公明党が実現と宣伝しています。もちろん日本共産党の力だけで実現したと思っ

九七年の選挙で党が公約に掲げた市内循環バス

実現にむけて、日本共産党の松平議員が市民と協力し、徹底した他自治体の調査に基づく連続十二回にわたる議会質問で、とうとう

とほ出来ないでしょう。事実を曲げる党には、来はありません。日本共産党は事実に基づく政策論争を求めています。



たばた あずみ

保育園で「ごますり」のお仕事がお気に入りの、ちび4歳。これを使わない手はありません。夕方忙しい時間に「ねえ、ごますりやってくれない?」「えー、やだー」即答か!まけないぞ!「やってよー、君がすったごま、おいしいから」。ちび、にっこりと「かあさんがすったごまのほうが、もっとおいしいよ」。

経過を市民に報告しているだけです。

四年間ほとんど だんまりの公明党

今日まで、四年間で合計すると八回にわたって日本共産党の影山議員がねばり強く、温泉建設よりも、小・中学校の耐震化促進を」と議会で質問しました。

公明党は、〇八年の九月議会で、初めて耐震化問題で質問し、しかも耐震化の要請ではなく、「計画はどうなっているの」という姿勢でした。これで「公明党がやった」と宣伝するとはあきれます。

野良望

くそう、かわいい!しかし憎い!仕方なく自分で(おかしい、こどもはあと2人いるはずなのに!)インゲンの胡麻和えを作り、食卓へ。「かあさんがつくったごまあえ、お〜いし〜い」。あああ母さんキラー!また作ってあげるぞ!

(09.6.28)

連絡先は☎550-6674

△さんは心臓に持病があり、度々発作が起きる。膠原病で特別障害者2級の夫人の面倒もみている。食事づくりから、病院への送り迎え、車いすを使つてなるべく外にも連れ出すようにしている。▼要介護2だったのが、新しい介護認定で要支援2に、3段階も引き下げられた。車いすも利用できなくなった。「これまでも冷たい行政だと思つていたが、本当に「早く死ね」と言われているように感じる」と△さんは言う。▼日本共産党の第8回中央員会総会で志位委員長は選挙に臨む二つの旗印の第一に「国民の生活と権利を守る『ルールある経済社会』」をあげ、現在の日本の異常さを雇用、社会保障、税金について厳しく告発している。介護保険でも高い保険料を営々と払ってきたにもかかわらず、必要なときにその介護が受けられないとはひどすぎる。この根源は毎年2200億円の社会保障費削減です。社会保障費を拡充に転換するために、選挙で勝ちたい思いを改めて強くした。

(湘)

あきる野市議選へのご支援に感謝！

日本共産党新あきる野市議団が

決意を新たに



戸沢弘征

市議団の市民アンケートでは「悲鳴」ともいえる高齢者の生活苦難の声が多数寄せられました。自民党・公明党の悪政は、これらを「自己責任」として冷たく対応していることに対し「負けてたまるか!」の気概で取り組んできました。

幸い長年の市民の方々との結びつきが実を結ぶと共に、皆様の応援で過去最高の支持を得て勝利しました。これからも3人の市議団の「要」として、34年の経験を生かして頑張ります。

山根とみえ

「福祉をお願いします」と声をかけられたり、「私が生きているうちになんとしてもるのバスを増やしてほしい」と声が寄せられるなど「るのバス」への要望の強さを痛感しました。

「病院から出て行ってくれといわれた」「親の介護で仕事をやめなければならぬ」「保育園に入れないので働きに出られないなど、医療・介護、子育て支援の切実な声。この声を市政に届けるため頑張ります。

たくさんのご声援・ご支援をいただき、ありがとうございます。皆様にも励まされて、最後までたたかい抜くことができました。「るのバス、お願い」「安全な道にして」「子育てが楽しい町に」などの世代を超えた要望もたくさんたくさん聞かせて頂きました。たばたを議会に送って本当に良かったと思っただけのように、精一杯がんばります。今後とも、よろしくお願いいたします。

たばたあずみ



都議選西多摩選挙区
あきる野市・福生市・羽村市・瑞穂町・日の出町・奥多摩町・桧原村
党西多摩青梅地区副委員長
数野はじめさんが**予定候補**に
暮し守る都政実現に全力！

柳川

ワーキングプア親が死ぬまで睡かじり
郵政で麻生内閣股が裂け
知ってるかの大宰治も元シンパ
猜張もアカの嫌疑でフタ箱に

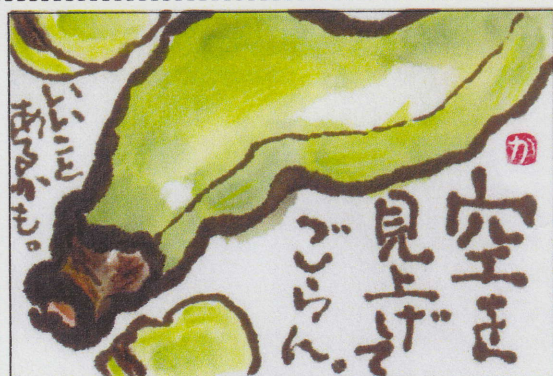
西川昇
松籟坊

6月21日 あきる野原水協が総会



あきる野原水協は21日、第22回総会を行い、核兵器廃絶の機運が高まっている中で「核兵器のない世界を」の署名の推進、原水爆禁止2009年世界大会長崎への代表派遣、来年5月のニューヨークでの核不拡散条約検討会議へ向けての代表派遣を決定し、などの活動方針を決定しました。

総会に先立って東京原水協の柴田桂馬代表理事が「核廃絶をめぐる世界の動きと2009年世界大会」と題して講演を行いました。



絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住

歴史探訪

第92回

地名考・原小宮②



小宮一神門

「原」は平らな広い所の意、特に耕作していない平地を意味しますが、元来、小宮と原小宮は一体の地域であったと考えてよいと思います。「風土記稿」では「原小宮に神社仏寺がない」と記されていますが、珍しい地域です。余談になりますが、草花の小字に小宮久保があります。この集落も小宮神社を中心とした小宮郷と繋がりのある一体化した地域と思っ

てよいでしょう。
神社・寺・陵墓などを遙か遠くから拝む場所を遥拝所と云います。特に高い山に祀る神社への遥拝所を、全国各地で見かけます。小宮村の対岸の原地であったと思われる原小宮の氏子たちにとって、橋が架かかっていない平井川は礼拝の障害でした。南北道路に面した平井川南岸の高台に小宮神社を拜む遥拝所が古くからありましたが、老朽化したこの遥拝所が昨年暮に整備され、鳥居や石碑がきれいに蘇えています。百年前と云われる石碑には「小宮一神門」と彫られています。曾ては二つ目・三つ目の神門があったのでしょうか。今、木立や住宅に阻まれ小宮神社を望めませんが、当時は平井川を挟み遙かに見える神社を礼拝したのかも知れません。

江戶期から村名は続いてきました。一八九二(明五)神奈川県、一八七八(明治十)西多摩郡、一八九二(明治二五)東京府西多摩郡、一九二一(大正十)多摩郡の大字、一九五五(昭三十)秋多町大字、一九七二(昭四七)秋川市大字となつて現在に至っています。(この項終り)



(季語) 梅雨 六月上旬から約一ヶ月の雨期を云い、時には晴れ間が出て、「梅雨晴間」「梅雨夕焼」などの使い方も、近年の傾向として五月雨を使わず梅雨が多く使われます。

亡き夫の単衣の紺地手に軽し (富)

木鉄の音の絶へぬ日梅雨晴間 (淑子)

さきいかを餌にザリガ二組ふ子等 (静子)

菜園の初成りゴーヤ小指ほど (るり子)

夏つばめ造り酒屋の大暖簾 (つや)

砂はかす浅瀬モシギキツとなきにけり (照代)

サボテンの花開く刻しばむ刻 (かほる)

夏シャツのふくらむ背中子の走る (和恵)

シャガールの夏の夜に飛ぶ星天馬 (秀治)